# 被爆イチョウ 平和の根を

## 広島とサラエボつなぐ

被爆イチョウの苗木
サラエボへ

小溝さん（左）とサラエボ市長＝サラエボ市、広島平和文化センター提供

核といのちを考える
被爆69年の夏

第2次世界大戦末期に広島に落とされた原爆で、被爆したイチョウがある。69年後、そのイチョウの種から育てられた苗木が第1次世界大戦の発端となった都市に植えられた。ボスニア・ヘルツェゴビナの首都サラエボ。二つの大戦の象徴的な地がつながり、平和と核なき世界への願いが広がる。

「平和のメッセージを提供することができて、うれしい」。サラエボ市の中心部にある公園で6月28日、広島平和文化センター理事長の小溝泰義さん(66)は顔をほころばせた。視線の先には、広島から約9千キロ離れた地に植えられたイチョウの苗木。高さ約60センチ、幹の太さは数センチだが、力強さを思わせる薄緑の葉が風になびいていたという。

小溝さんと一緒に苗木を植えたサラエボ市長のイーボ・コムジッチさん(66)は応えた。「意義ある木を贈ってもらい、大変ありがたい。大切に育てたい」

被爆樹木を通して、平和を発信していこう――。小溝さんが事務総長を務める「平和首長会議」（加盟6127都市、会長・松井一実広島市長）は昨夏の総会で、原爆で被爆した樹木を植えていく方針を決めた。その第一号として、加盟都市でもあるサラエボが選ばれた。

植えられることになったのは、広島市中区にある庭園「縮景園」で被爆したイチョウの「子ども」にあたる苗木。被爆樹木の種や苗を国内外に贈る活動をしている市民団体「グリーン・レガシー・ヒロシマ」が育てた。平和と核廃絶を求める被爆地の思いが込められている。

この苗木が植樹された6月28日は、サラエボにとっても歴史的な日だった。ちょうど100年前。当時ボスニアを支配していたオーストリア・ハンガリー帝国の皇太子夫妻がサラエボ訪問時にセルビア人青年に射殺された。この「サラエボ事件」のあと、オーストリアはセルビアに宣戦布告。戦火は拡大してヨーロッパ諸国を二分し、第1次世界大戦に発展した。

小溝さんは帰国後、取材に語った。「世界の国々が広島の体験を知り、平和への意識を育てていく。その動きにイチョウが少しでも役だってほしい」

（中崎太郎）

■寝屋川女児虐待死事件をめぐる主な動き

| | |
|---|---|
| 2010年3月7日 | 岸本憲(あきら)、美杏(みき)両被告の三女瑠奈(るな)ちゃん(当時1)が急性硬膜下血腫による脳腫脹(しゅちょう)で死亡 |
| 4月9日 | 自宅マンションで瑠奈ちゃんに暴行を加えて死なせたとして、大阪府警が両被告を傷害致死容疑で逮捕。両被告は「ベッドから落ちたかもしれない」などと否認 |
| 同28日 | 大阪地検が、瑠奈ちゃんの頭部を平手で強打するなどしたとして、両被告を傷害致死罪で起訴 |
| 12年3月21日 | 大阪地裁が「児童虐待には…まで以上に厳しい罰を科すことが社会情勢に適合する」として、両被告に懲役10年の求刑を上回る懲役15年の実刑判決を言い渡す |
| 13年4月11日 | 大阪高裁が両被告の控訴を棄却 |
| 14年7月24日 | 最高裁が一、二審判決を破棄し、両被告にそれぞれ懲役13年と同8年を言い渡す |

## 剛腕、

涙を流し、グラウンドを後…する安楽智大投手（右）＝…山市の坊っちゃんスタジア…

…失点を許し…6…を奪われた。

試合後、上甲監…「よく頑張った。舞台を目指せ」と…安楽君は「最後の…んなと戦えた。…た」と涙目で語っ…

## 岡山で

…太平洋高気…影響で、24日…以上の「猛暑…熱中症とみら…救急搬送が相…気象庁によ…各地の最高気…梁市でこの日…に高い37・2…媛県新居浜市…町で37・0度…・8度、広島…・7度などを…暑さの影響…は午後5時ま…疑いで15人が…れ、四国中央…が心不全で死…府内でも計17…た。